

第3回

旭区中宮・太子橋地域史づくり

ワークショップ・ニュース

平成19年9月7日(金)に中宮と太子橋のオリジナルの地域史作成を目的としたワークショップの第3回を開催しました。

このワークショップは、地域史の作成を通じて、これまで積み重ねてきた経験等を活かした人材の育成、コミュニティのさらなる向上を目指すものと考えています。

3回目となる本ワークショップでは、中宮にある重誓寺(じゅうせいじ)にお伺いし、お寺の二十七代目である前ご住職にお寺や地域の歴史についてお話をさせていただくとともに、ご本尊や聖徳太子御影などを拝観させていただきました。

重誓寺(じゅうせいじ)について

お話をいただいた内容を簡単にまとめますと、重誓寺は鎌倉の武士であった法名「賢浄」が開基したお寺で、江戸時代には寺請制度の確立によって今の区役所のような業務をしていました。また、同時代には寺子屋として村民の教育に大きな役割を担い、明治8年から城北尋常小学校が創立される明治22年までの間、中村小学校として続けられていたそうです。



●お話の様子



●見学風景(ご本尊)

次回のワークショップは、参加者のご提案により太子橋地域を見て歩きながらテーマを見つけ、発見する「太子橋フィールドワーク」を開催することになりました。

次回、第4回ワークショップは、平成19年10月4日(木)に開催します。

本内容に関するお問い合わせは
大阪市旭区役所区民企画担当まで
tel06 (6957) 9734

大宮版と古市版の
オリジナル地域史が
完成しました!

ご協力いただいた
皆様ありがとうございました!

